

[06] エネルギー史研究ノート表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/13832>

出版情報：エネルギー史研究ノート．6，1976-03-15．エネルギー史研究会
バージョン：
権利関係：

西日本文化協会既刊図書

<p>多田隈豊秋著 九州の石塔 上巻 上巻福岡・佐賀・長崎・熊本) B5判四八頁・写真五五枚・三二点 定価三、〇〇〇円(送料別) 下巻(大分・宮崎・鹿児島) 続刊 著者の実地踏査による九州の石塔三百余点(上巻) について塔形別年代順に配列し、各塔ごとに写真銘文、解説を付した石塔の基礎的研究書。</p>	<p>秀村選三・藤本隆士・武野要子・松下志朗・東定宣昌校注 博多津要録 福岡県文化財指定 楠田神社所蔵本 A5判 第一巻六二〇頁 解説付 原色博多古図二枚添付(既刊) 第二巻三月刊行予定 近世博多の政治・経済・社会・文化の動向を如実に記す基礎的史料集 第一巻(寛文六)元文元年 第二巻(元文二)宝暦元年 定価各一〇、〇〇〇円(送料別)</p>	<p>佐賀大学教授城島正祥解題 鍋島直正公伝 全七巻(覆刻版) (三百部限定) A5判 頒価一揃三〇、〇〇〇円(送料別) 原本は反覆改修して大正九年に発行。幕末の名君鍋島直正公を通して、佐賀藩独自の政治、経済、社会、西洋文化の導入等を全国の動向と緊密に関連をもたせながら詳細に記述。</p>	<p>佐賀大学名誉教授三好不二雄監修 三好嘉子校注・解説 野田家日記 富商野田家の当主が江戸時代後期八七年間にわたり書きついで覚書。家業を重んじて、封建の世を生き抜いた商人の記録。庶民の生活を語り、社会的重要事件にも触れて興味深い。 B6判・二三〇頁 カラー写真一一枚 白黒写真一一七枚 定価三、〇〇〇円(送料別) 筑紫路に残されている絵馬の数々を、それを掲げる社寺・祠堂を背景とする民衆信仰の中でとらえる。写真図版に解説を付している。</p>	<p>市場直次郎著 筑紫路の絵馬 全八巻(第一巻既刊 第二巻三月刊行予定 毎年一冊刊行) A5判第一巻(六一五頁)六、五〇〇円 第二巻七、〇〇〇円(予定) 六〇〇部限定 第一巻 明治以降の九州石炭礦業史に関する文献(単行本の部)、三井鉱山、直方市石炭記念館 九大産業労働研究所等の所蔵資料や麻生家その他諸家の文書の目録 第二巻 麻生家文書、今泉家文書、佐賀大学経済学部所蔵資料、宮崎文庫等の目録および戦後の論文目録</p>	<p>秀村選三他編 九州石炭礦業史資料目録 筑豊石炭礦業史年表編纂委員会編 筑豊石炭礦業史年表 全一卷 B5判・七二〇頁 8ホ・横二段 定価一三、〇〇〇円(送料別) 残部わずか!</p>	<p>秀村選三監修 米津三郎校注 中原嘉左右日記 全十二巻(第十巻まで既刊) A5判・頭注付 定価各六、〇〇〇円(送料別) 北九州における藩制の解体から日本資本主義の黎明期を綴る豪商一代の克明な日記</p>	<p>秀村選三編 薩摩藩の構造と展開 A5判 六四〇頁 定価一〇、〇〇〇円(送料別) 新刊 南九州の独特な歴史と文化を育ててきた薩摩藩の社会・経済・藩政・近代化等の諸問題について、各専門分野の研究者による一四編の論文と巻末に薩摩藩関係主要文献目録を収める。地域史研究の金字塔。</p>
--	--	--	---	--	---	--	---